

# 技術士だより

—(社)日本技術士会九州支部・九州地方技術士センター春季号<第23号>(平成7年3月15日発行)

## ◇巻頭言

### 明日へ向って

原井 東男 (理事・九州支部長・大分・建設)

年が改まって早2ヶ月が過ぎようとしています。暦ではもう春、希望が膨らむ一年でありたいと願いつつ所感を綴ります。

顧みて、昨年の政局は迷走を続け今年に引き継がれ、猛暑や渇水で泣かされ、景気の底入れも見い出せず推移した。加えて、国際社会の仲間入りに備えて規制の緩和や、PL法の制定、入札契約制度の見直しなど慌ただしい一年であったと思います。

今年に入り、正月気分もやっと抜け出した途端に1月17日の大震災、想像を絶する大惨事となりましたことはご承知の通りであります。一日も早く復興の槌音が響きわたることをご祈念する次第であります。

この惨事難事を乗り越え、21世紀へ向かって新しい日本創造元年となることを期待したいものである。

予てより、私は、「魅力ある技術士会・活動する技術士会・躍進する技術士会」を目指し、「数は力なり・継続は力なり・協調は力なり」を会運営の基本として取り組んで参り、その成果も徐々に現れつつあると自己評価致しておるところであります。

今年は、本部役員・支部役員とも改選期に当たります。本部役員選挙は、昨年1年かけ選挙制度の改定を行い(既報済み)、新制度で選挙を実施致します。又支部役員については、今回は支部長のみ選挙で選ぶこととなり、現在選挙の規定を作成し審議中であります。

本部・支部とも役員の一部交替が行われ、新進気鋭の方々に受け継がれることと思います。

続々述べて来ましたが、技術士会も一つの転機であり、飛躍の時期ととらえ大いに羽ばたき、理想像に向って邁進されることを念願致します。

以上

## ↓ 私の提言

### 「活力ある技術士会を目ざして」

木山 辰宏佳 (福岡・建設)

今年1月17日に突然生じた阪神大震災のニュースを知り、ビル、橋梁等の崩壊を目のあたりにして、最初の印象は、去年同時期に

生じたノースリッジ地震の光景を思い出し又あってはならないことが起ってしまったという思いでした。(次ページにつづく)

# 1 人でも多くの入会をお勧め下さい

(私の提言つづき)

今後、各関係機関の対応もさることながら、我々、技術士会もこれを契機に何か出来るのではないかと思います、以下述べることを提案したいと思います。

## 1. 社会貢献できる組織づくり

技術士各個人は、いろんな分野で活躍していると思いますが、例えば今回のような自然災害に対して技術的判断のできる組織や、実務レベルを踏まえた上での工学的判断のできる組織を構築し、社会に貢献する。

## 2. 官、学、士の組織づくり

一般に産、官、学の組織はいくつかあると思いますが(九州ではKABSE等)純技術レベルを追及する分野を大学、役所、技術会が一体となった組織を構築し技術向上を図る。↗

## 3. 各青年技術士会の交流

各地域毎に青年技術士会があり、それぞれ独自の活動を行っていると思いますが、今後定期的な交流の場を設け、若い技術者の意見交換を行い各技術士の活性化を図る。

## 4. 社会に評価される技術士会を目指す

技術士は、一級建築士と比べ世間には一般に知られていない存在と思われるため今後、前述した社会貢献や各種団体協会への積極的参加や又その中での研究発表を行い、技術士の存在価値を社会にアピールするのも一手段ではないかと思います。

以上、私なりの意見を勝手に述べましたが要は、技術士会だけの独自の活動ではなく、社会全体を取り組んだ謙虚な活動(公的な活動)により今まで以上に技術士会が活性化し社会に貢献できるものと確信します。

## 日本技術士会近況

原井 東 男(理事・九州支部長)

### ◎平成6年度第5回理事会報告

(開催日 平成7年1月18日)

#### 審議事項

1. 平成7年度事業計画、収支予算(案)
2. 講演会、見学会補助限度額配分基準の改訂
3. 名誉会員資格の改定について
4. 平成7年度役員選挙の日程について
5. その他常設委員会よりの報告事項

#### 審議結果

- (1). 事業計画、予算(案)について一部の手直しの上3月15日臨時総会に於て決定する。
- (2). 九州支部配分額は、昨年通り10万円と決定した。
- (3. 4). 項は、前回号に(案)として掲載してあるので紙面の都合もあり割愛する。  
尚、役員選挙制度及び日程については、月刊技術士2月号に詳しく掲載されているので、お目通し願いたい。 以上↗

### ↗◎平成6年度第2回支部長会議報告

(開催日 平成6年11月29日)

共通議題は下記の通り

#### 1. 共通議題(合同セミナーの在り方)

各支部長意見は

この本来の目的は、公共機関に技術士の存在価値をPRし、引いては、職域の拡大に繋げることを目的としてスタートしたものである。

従って、技術士のためのセミナーであることが第一議である。

しかしながら、時代の変化、地域の特性もあるので、本来の趣旨をふまえた行事であれば形式に拘る必要はない。

以上の意見をふまえ、今回の当番支部でガイドラインを作成し、次回に提出することとなった。

(次ページにつづく)

(本部近況のつづき)

2. その他下記事項について状況交換を行った。
    - イ. 地方自治体の各種委員会への参入状況
    - ロ. 各支部役員の選出方法について
    - ハ. 全国大会の意義について
    - ニ. 支部長座談会を開催し、マスコミにPRすることの是非について
- 次回支部長会議は  
平成7年2月21日(火)  
担当 中部支部

以上

#### ◎平成6年度第2回支部長会議報告 (開催日 平成7年2月21日)

1. 「地方公共団体職員と技術士との合同セミナー」の今後の運営方針について
2. 定款変更の審議に対し、支部長会としての意見書提出について

#### ／3. 補の指導態勢について

以上3件を主要議題として検討した。

- (1). については、本部補助対象の合同セミナーは、発足当初の目的を踏みはずさぬよう、主体性を持って実行することを基本とする。  
形式については、主催者を(社)日本技術士会とし、行事の実施は、支部とする。地方公共団体との共催又は後援、他団体との共催又は後援、関連団体協会員の参加、関連企業社員の参加も認める。建設部門以外の部門にも配慮した対応が望ましい。
- (2). 3月末日までに提出することとなった。
- (3). 補対策については、時間の都合上審議未了となった。  
次回は九州が担当。

## 技術士会九州支部・九州地方技術士センター 行事・会合などの報告

### 支部センター行事

#### ◎第1回幹事会

1. 日時 平成5年11月30日(水)13:00~16:00
2. 場所 事務局
3. 出席者 支部長外5名
4. 議題 九州支部並びに九州地方技術士センターの規約改定について

#### ◎第2回幹事会

1. 日時 平成6年1月14日(土)13:00~16:00
2. 場所 事務局
3. 出席者 支部長外5名
4. 議題 11/30開催分と同じに付省略す。

#### ◎臨時常任幹事会

1. 日時 平成6年12月3日(土)11:30~13:30
2. 場所 博多パークホテル
3. 出席者 支部長外10名
4. 議題 2/4製造物責任(PL)制度講習会について

#### ◎第2回常任幹事会

1. 日時 平成7年2月21日(土)13:00~16:00
2. 場所 博多第一ホテル
3. 議題 (1) 会員増強、賛助会員、賛助広告のお願い  
(2) 2/4開催予定のPL法説明会について

- (3) 年度末決算の見通しについて
  - (4) 平成7年度事業計画(案)作成について
  - (5) 支部役員改選に伴う、支部規約及び細則の見直しについて
  - (6) その他
- 出席者 16名

#### ◎平成6年度忘年パーティ並びに研修会

1. 日時 平成6年12月3日(土)13:30~19:30
2. 場所 博多第一ホテル
3. 研修会 講師 三宅英利先生  
「日本と朝鮮半島との交流の歴史」  
講師 後藤四郎先生  
「私の人生漫談」
4. 忘年パーティー  
参加者 研修会56名、  
忘年パーティー65名

#### ◇郷・試験委員会(政野委員長)

☆平成7年度技術士第二次試験受験申込書  
配布説明会会場と開催日時  
(次ページにつづく)



（支部・センター行事報告 つづき）

（1）福岡地区

日時 平成7年3月4日（土）10:00、13:00

場所 福岡商工会議所ビルB1号室

福岡市博多区博多駅南2-9-28

TEL 092-441-1111

（2）北九州地区

日時 平成7年3月11日（土）14:00～17:00

場所 戸畑中央公民館会議室

北九州市戸畑区浅生2丁目

TEL 093-882-4281

（3）佐賀地区

日時 平成7年3月12日（日）10:00

場所 九州技術開発（株）会議室

佐賀市鍋島5-7-23

TEL 0952-32-1112

（4）長崎地区

日時 平成7年3月4日（土）13:00～16:00

場所 長崎県勤労福祉会館

長崎市桜町9-6

TEL 0958-21-1456

（5）熊本地区

日時 平成7年3月11日（土）14:00～16:00

場所 水前寺共済会館

熊本市水前寺1丁目33-18

TEL 096-383-1281

（6）大分地区

日時 平成7年3月5日（日）13:00～16:00

場所 大分市コンパルホール3F 301号

大分市府内町1-5-38

TEL 0975-38-3700

（7）宮崎地区

日時 平成7年3月18日（土）13:00～15:00

場所 宮崎県地質調査業協同組合

（土質試験センター）

宮崎市大字本郷北方字平田2043

TEL 0985-52-2403

（8）鹿児島地区

日時 平成7年3月4日（土）13:00～15:00

場所 鹿児島市鴨池公民館第一研修室2F

鹿児島市鴨池2-32-6

TEL 0992-52-5756

（1）第1回講習会

平成7年4月15日（土）9:00～17:00

・午前（集中講義）

技術士制度及び問題別の出題意

図と受験対応法並びに対策研修

法の基本的な考え方を解説

・午後（個別面談）

選択科目別に出題意図と答案作

成の方針を解説並びに練習用課

題の提示及びまとめ方の伝授

（2）第2回講習会（1日目）

平成7年6月10日（土）9:00～17:00

・午前（集中講義）

練習答案添削結果の総合評価に

よる要修正傾向及び合格能力育

成の総合的な考え方を解説

・午後（個別面談）

練習答案添削結果の個人別評価

による答案修正及び答案作成の

基本的考え方を個人別に伝授

（3）第2回講習会（2日目）

平成7年6月11日（土）9:00～17:00

・終日（総合練習）

模擬の筆記試験練習（本番同様

の要領で実施）及び受験の心構

えと答案作成の要領を総合解説

（4）第3回講習会

平成7年7月22日（土）9:00～17:00

・午前（集中講義）

受験直前の対策研修についての

効果的な考え方及び答案作成法

仕上げについての要点を解説

・午後（個別面談）

予想出題の提示と練習答案利用

に関する考え方及び答案最終仕

上げの要点を出題科目別に伝授

☆注記①午後（個別面談）は、受講者と  
専門技術分野を共通する技術士  
が個人別の専任となり、責任を  
もって一貫指導します。

②第1回講習会には、受験申込書  
の写しを持参され、体験業績練  
習答案が出来た方はそれも個人  
指導講師へ提出なさって下さい。

③第1回講習会午後提示の課題  
と第2回講習会2日目の模擬試  
験とで作成なされた練習答案の  
（次ページにつづく）

◇センター・育成委員会

（久保田委員長）

◎平成7年度技術士第二次試験育成講座

1. 講座内容（期日及びカリキュラム）



(支部・センター行事報告 つづき)  
出題科目全てについて添削2回  
を施したうえで個人指導講師の  
担当で総合評価と細部修正事項  
の指摘や考え方等々を具体的に  
繰り返して伝授します。  
尚、上記2回の添削で合格水  
準へ達しない場合に際しては、

ご希望によって更に追加添削も  
別途用意致します。

2. 講習会場：福岡市博多区博多駅前2丁目  
9-28 (全3回4日共)  
福岡商工会議所ビル6F  
(TEL 092-441-1111)

3. 受講料：120,000円 (全回分、消費税込み  
資料・昼食代を含む)

#### ◎6 部会共催技術研修講演会

支部部会長代表

第2部会長 川崎迪一

1. 日時 平成7年3月4日(土)15:00~18:00

2. 場所 福岡市博多区博多駅前2-9-28

福岡商工会議所ビルB1F

#### 3. 講演会

(1)「異質の国のCE (技術士)」

講師 (株)国土開発コンサルタント  
専務取締役 新城精一先生

(2)「人間の生き方」

講師 九州大学文学部  
倫理学教授 細川亮一先生

4. 懇親会 17:00~18:00

会費 (会食費用) 2,000円

以上

#### ◎第1部会技術研修会

1. 日時 平成7年3月18日(土)13:30~16:40

2. 場所 博多第一ホテル 2階会議室

#### 講演の題目と講師

(1) 水門開閉装置の開発と普及事例

技術士(機械) 松尾憲一先生

(2) 高圧地絡試験電源装置の開発

技術士(電気・電子) 洲上健次先生

☆ 出欠の可否を3月10日迄事務局まで

TEL 092-771-9534

#### ☆平成6年度技術士第一次試験合格者

平成6年12月21日発表

|      |       |      |       |
|------|-------|------|-------|
| 機 械  | 佐藤隆宏  | 建 設  | 平原浩之  |
| 電気電子 | 洲上義弘  | "    | 津崎博美  |
| "    | 安部俊一郎 | "    | 片山善郎  |
| "    | 城井泰一  | "    | 重信光男  |
| "    | 佐野 賢  | "    | 瀬口宏由紀 |
| 資源工学 | 鮎澤 潤  | "    | 飛田隆雄  |
| 建 設  | 八十島徳三 | "    | 西国幸浩  |
| "    | 吉武寿志  | "    | 花田 光  |
| "    | 山元哲弥  | 水 道  | 新原和弘  |
| "    | 河内圭司  | "    | 外山幸博  |
| "    | 坂本 洋  | 衛生工学 | 山口靖文  |
| "    | 徳島正浩  | "    | 雪村俊明  |
| "    | 金城 浩  | "    | 山田幾太郎 |
| "    | 安達光徳  | "    | 藤重俊徳  |
| "    | 上内綱蔵  | "    | 塩道 透  |
| "    | 宇野 誠  | "    | 松下 弘  |
| "    | 熊本幸重  | "    | 緒方清隆  |
| "    | 野口謙一郎 | "    | 小川常行  |

|      |      |         |       |
|------|------|---------|-------|
| 衛生工学 | 白石孝一 | 生物工学    | 岡崎正剛  |
| "    | 笹原秀生 | "       | 天野 誠  |
| 農 業  | 高木克己 | "       | 江島美穂  |
| 水 産  | 牧野清人 | "       | 平島隆祥  |
| 応用理学 | 綿谷博之 | "       | 鈴木大資  |
| "    | 笠原拓造 | 環 境     | 丸本美也  |
| "    | 林田能彦 |         |       |
| "    | 栗田直樹 | 福岡試験場   | 52名   |
| "    | 高橋伸尚 | (平成5年度) | (64名) |
| "    | 池田圭一 |         |       |

#### 前年度との比較

| 年度              | 6 年度   | 前年度    |
|-----------------|--------|--------|
| 区分              |        |        |
| 受験申込者数          | 4,978人 | 4,157人 |
| 受 験 者 数         | 3,350人 | 2,648人 |
| 合 格 者 数         | 707人   | 824人   |
| 申込者数に対<br>する合格率 | 14.2%  | 19.8%  |
| 受験者数に対<br>する合格率 | 21.1%  | 31.1%  |

☆平成6年度技術士第二次試験合格者

平成7年2月3日発表

|      |       |     |       |
|------|-------|-----|-------|
| 機 械  | 山口啓志  | 建 設 | 高本 明  |
| "    | 松下幸之助 | "   | 山本芳裕  |
| "    | 長谷川信之 | "   | 山下正哉  |
| "    | 福永圭悟  | "   | 藤尾保幸  |
| "    | 井家上洋  | "   | 岩田博文  |
| 電気電子 | 碓 俊明  | "   | 古賀教彦  |
| "    | 松尾 稔  | "   | 濱田善弘  |
| "    | 毛利勝則  | "   | 緒方 滋  |
| "    | 永田至孝  | "   | 柿山真一  |
| "    | 桑折恭一郎 | "   | 高木 茂  |
| "    | 柴田典顕  | "   | 高橋陽一  |
| 化 学  | 高井一也  | "   | 堤 忠彦  |
| 金 属  | 安田 久  | "   | 豊永信博  |
| "    | 服部敏幸  | "   | 大久保裕文 |
| "    | 安西敏雄  | "   | 矢ヶ部輝明 |
| 資源工学 | 中村眞史  | "   | 伊藤解子  |
| 建 設  | 小川敏幸  | "   | 内田武顕  |
| "    | 吉本豊彦  | "   | 橋口清文  |

|     |       |     |      |
|-----|-------|-----|------|
| 建 設 | 恒松道信  | 建 設 | 佐野信博 |
| "   | 篠 勤   | "   | 工藤康芳 |
| "   | 関 智   | "   | 江藤芳武 |
| "   | 森 勝義  | "   | 前田義隆 |
| "   | 菊池孝次郎 | "   | 武藤常陽 |
| "   | 豊崎貞治  | "   | 石田弘至 |
| "   | 村上秀夫  | "   | 藪内一彦 |
| "   | 堀川毅信  | "   | 寺地 守 |
| "   | 奈良 敬  | "   | 加藤啓文 |
| "   | 大和則夫  | "   | 吉田輝光 |
| "   | 梅本恭介  | "   | 野田健二 |
| "   | 上村洋司  | "   | 谷口 勲 |
| "   | 石井栄造  | "   | 栄徳洋平 |
| "   | 黒枝秀吉  | "   | 篠宮正修 |
| "   | 吉村 佐  | "   | 光岡 毅 |
| "   | 有吉隆弥  | "   | 田中康男 |
| "   | 佐藤秀輝  | "   | 小柳賢祐 |
| "   | 西井康浩  | "   | 八木章久 |
| "   | 高山直樹  | "   | 緒方英雄 |
| "   | 永友久信  | "   | 山下郁史 |

|     |       |      |       |
|-----|-------|------|-------|
| 建 設 | 田中義朗  | 建 設  | 金子俊幸  |
| "   | 谷村信一  | "    | 吉竹正致  |
| "   | 江藤英昭  | "    | 岩切重人  |
| "   | 細田勝則  | "    | 丹生谷和臣 |
| "   | 松原利之  | "    | 大城政人  |
| "   | 宮本晴邦  | "    | 中村秀一  |
| "   | 西山和比古 | "    | 黒崎靖介  |
| "   | 稲森光洋  | 水 道  | 角田典基  |
| "   | 山口裕三  | "    | 外園隆一  |
| "   | 渡邊健二  | 衛生工学 | 岸田正坦  |
| "   | 山本紀夫  | "    | 上野山清  |
| "   | 中村拓三  | "    | 三方信行  |
| "   | 宮本 憲  | "    | 杉野 光  |
| "   | 野添秀昭  | "    | 毛利一美  |
| "   | 吉岡一行  | 農 業  | 藤本滋生  |
| "   | 若林昭彦  | "    | 崎野信義  |
| "   | 高田悦久  | "    | 白井良典  |
| "   | 川井田芳紀 | "    | 吉村博人  |
| "   | 境 睦人  | "    | 上野幸一  |
| "   | 田代民治  | 林 業  | 諫本信義  |

|      |       |      |       |
|------|-------|------|-------|
| 林 業  | 八村智明  | 応用理学 | 長谷川修一 |
| 水 産  | 山本 浩  | "    | 塚原 光  |
| 情報工学 | 畠中新二郎 | 環 境  | 小島義博  |
| 応用理学 | 園田吉弘  | "    | 古賀照久  |
| "    | 松本直弥  | "    | 松浦茂雄  |
| "    | 原口善光  | "    | 松岡信明  |
| "    | 金田良則  | "    | 岸和田佑  |
| "    | 輿那原信夫 | "    | 松本克彦  |
| "    | 酒見知加保 | "    | 中熊秀光  |

福岡試験場134名 (平成5年度)94名

前年度との比較

| 年度<br>区分           | 6年度     | 前年度     |
|--------------------|---------|---------|
| 受験申込者数             | 21,308名 | 18,187名 |
| 筆記試験受験者数           | 12,637名 | 10,220名 |
| 筆記試験合格者数           | 2,224名  | 1,770名  |
| 口頭試験受験者数           | 2,223名  | 1,763名  |
| 口頭試験合格者数           | 2,006名  | 1,609名  |
| 受験申込者に<br>対する合格率   | 9.4%    | 8.8%    |
| 筆記試験受験者に<br>対する合格率 | 15.9%   | 15.7%   |

## 「P E問題に関する（社）日本技術士会内の意思統一と今後の展開策について」行動を呼び掛ける

渉外委員会  
企業内技術士委員会  
青年技術士懇談会

（社）日本工業技術振興協会が米国のP E制度の試験をわが国で行うことが伝えられていますが、この問題について日本技術士会では反対の趣旨と理由について最近の理事会で統一見解が出されました。更に今回の理事会においては、「P E問題に関する（社）日本技術士会内の意思統一と今後の展開策について」と題して、下記内容の具体的対応策が承認されました。このような情勢に際して、渉外委員会、企業内技術士委員会、および青年技術士会は、この具体策の実現を計るため、一致して最善の努力を行うことをここに声明すると共に、日本技術士会内の各部会、各支部、各種委員会、各プロジェクトチームなどの組織、および会員一般に対し、即時行動を呼び掛けるものであります。

### 具体的対応策

1、技術士・技術士補の資格は個々の技術業務に関連する技術資格を除き、技術能力についてのわが国の技術者の唯一の公的資格であり、これを今後さらに強化することがわが国における技術者のステータス向上に役立つものとする。特に現在伸び悩んでいる技術士補の資格については、大学および産業界の理解を求め、今後の発展のための措置をとることをとする。

2、技術士制度は米国のP E制度を参考にし、制定された資格制度で現在、この資格の下で技術コンサルタントを専業とする技術士と企業等に勤務する専門技術者としての技術士が存在しており、（社）日本技術士会もその両者が混在する形となっている。このことは昨今の理事会で確認されている通りであり、この両者が技術士制度の発展のために緊密に協力することが重要であるとする。

3、従って、現在（社）日本工業技術振興協会および日本P E協議会が計画しているような米国P E資格のわが国への導入は技術士・技術士補の制度に混乱と妨害を与えるものであり、絶対に容認できないことは最近の理事会で承認された統一見解の通りである。

4、（社）日本工業技術振興協会がこのような動きをする法的根拠が明らかでないが、国際的な整合性のある技術者の資格制度が将来検討の対象になるのであれば、政府諸官庁と共にその調整官庁でありまた技術士・技術士補の制度を所管する科学技術庁の指導の下に、（社）日本技術士会を含む多くの公的団体が参加した、大局的かつ開かれた討論により検討され決定されるべきものである。この点については、日本工学会は日本学術会議と連動して技術士制度の他に広く技術者の資格制度を検討したいとの考えを持っており、当技術士会、経団連など業界へも働きかけたいとしている。

5、（社）日本工業技術振興協会および日本P E協議会のような特定の団体の営利的、かつ思惑に基づく計画は、技術士制度および（社）日本技術士会に取って有害であるのみならず、今後のわが国の技術者の資格制度に取っても将来禍根を残す危険性を有するものであることについて、諸官庁およびマスコミ報道機関など関係各方面を説得し、またこのような日本技術士会の見解を明らかにする。

6、この他、懸案となっている英文呼称の改正、および技術士登録制度の改正、などの問題も関係各方面と交渉して早急に解決を図るべき問題と考える。



# 声の広場 地区活性化だより-16-北九州 この1年の歩み

北原 徳雄（北九州・代表幹事・化学）

昨年来の異常高温、渇水、さらに阪神大震災と天変地異が相次ぎ生活に不安を感じる昨今ではあるが、北九州では新北九州空港建設に本格的な工事が着工され、また学術・研究都市づくりに住宅・都市整備公団が決まった等明るい話題もある。

我が北九州地区は、誰とでも気軽に話し合える会員相互の人の和と、技術の研鑽に励むことをスローガンに運営を行ってきた。平成6年度は別表のように、研修に6部門8テーマと外部講師による講演1件、さらに工場見学会2件を実施して会員の技術力の高揚を図った。平成6年の暮も押し迫った12月24日「新日化ニュー亀川クラブ」で鍋を囲み忘年会を行った。出席者は24名と、これまでにない大人数の集まりとなった。宴半ば「技術士の歌」（久保田先生作詞）が児玉先生等の楽器演奏の「青い山脈」のメロディに乗せて、

みんなの声量豊かに会場を揺るがす場面や、和気藹々と技術のよろこびを語り合う姿も多く、地区として明るいムードを感じた。

また明るい話題として、わが地区の大村力氏（電気・電子）が永年の功績により会長賞を受賞されたことも特筆すべきである。

わが地区として為すべきことは、地区のさらなる充実と会員の増強および対外的な技術士制度の認識等を図って行くことである。この対外的な活動としては、技術士試験に関するPRを民間はもとより、九州工大、西日本工大等国公私立大学あるいはNHK、日刊工業新聞社等のマスコミ機関にも既に働きかけている。これからは、試験以外の諸情報に関しても、マスコミを重視してPRし、社会全般に技術士の認識や評価等を広く浸透させるために、この活動は続けていきたい。

## 1. 研 修 会

| 例会年月  | 部 門                    | 講 演 者 | テ ー マ                 |
|-------|------------------------|-------|-----------------------|
| 6年 4月 | 資源工学                   | 秦 正道  | 非鉄金属廃屑の処理について         |
| " 6月  | 機 械                    | 角田 正治 | 産業廃棄物のリサイクルについて       |
|       | 水 道                    | 谷口 輝彦 | 水道の技術                 |
| " 7月  |                        | 参加者全員 | 韓国、三星重工業(株)見学会の報告     |
| " 9月  | 金 属                    | 樋口 允宏 | 高硬度材料                 |
| " 10月 | 化 学                    | 北原 徳雄 | 知識融合化事業、下水汚泥処理システムの開発 |
|       | 機 械                    | 瀧瀬 良男 | 北九州商工会議所技術相談の年次報告     |
| " 11月 | 北九州市<br>企画局新空<br>港対策室長 | 奥野 照章 | 新北九州空港の建設について         |
| " 12月 | 応用理学                   | 久保田 裕 | セラミックスとその応用           |
| 7年 2月 | 金 属                    | 丸田 賢二 | 金属不織布の開発              |

## 2. 見 学 会

| 見学月日    | 見 学 先    | 見 学 先 住 所   | 案 内 者             |
|---------|----------|-------------|-------------------|
| 6年5月14日 | 日立金属(株)  | 京都府京田町長浜町35 | 是永逸生(機械)、永吉英昭(金属) |
| " 7月7日  | 三星重工業(株) | 韓国・慶南・昌原市   | 高橋興一(金属)、小松栄一(経工) |

## 行事レポート ◇ 玄海原子力発電所見学印象記

山谷 三郎（第一部会長・福岡・機械）

第1部会（機械・電気電子・船舶）の本年度行事計画の一環として、11月11日（金）佐賀県玄海町に設置の九州電力（株）玄海原子力発電所を、小林良一先生の九電との折衝ご尽力により見学し得ましたので報告します。

当日は秋晴れの快晴にて、参加者は第一部会員、建設、農業土木、応用理学、事務局等20名の多数参加を戴き実行できました。先ず10時に九電ビルに集合、九電殿ご協力の自家用バスに乗車出発、途中唐津市水産物おさかな村で休憩、12時頃日跡名護屋城郭内の展望良好な高台にて、遙かなる玄海灘を眺め歴史の跡をたどりながらの弁当開きとなりました。13時より目的の玄海原子力発電所訪問、松原課長殿から先ず案内説明を聴取、九州電力原子力発電所は加圧水型軽水炉を採用しているとの事で、この方式は、原子炉内ウラン235の核分裂反応で発生した高温高压の熱水を蒸気発生器に送り、そこで別系路管内水を蒸気に変換後蒸気タービンを回転、同一軸上の発電機で発電するものです。続いて原子力発電設備を見学、巨大なドーム内安全窓ガラス

越しに見る使用済燃料棒貯蔵所は、満々とたたえた碧青の冷却水槽中で出番待中でした。厳重な出入管理される原子炉は、広い制御室にてモニターテレビ画面で極めて静かに運転されており、続いて巨大な118万kwのタービン発電設備、更に屋外建設中の壮大な4号炉外観を見学しました。安全上放射洩れに対する対策が最大課題である原子炉は、5重構造—セラミックペレット、燃料被覆管、150ミリの厚炉圧力容器、鋼製格納容器と外部の厚いコンクリート壁建屋—にて防護されており、更に異常時に対する制御棒の緊急運転遮断装置等万全の安全対策が図られていました。将来エネルギー供給事情からは、原子力発電の必要増設を知感し得た有意義な見学でした。帰りは九電殿バス車内にて缶ビール等飲みながら車外風景を楽しみ、唐津おさかな村で土産物を買ひ、全員無事午後5時発車地に帰着しました。終わりに、九電殿の心からのご配慮と、お世話戴いた先生方に厚く感謝申し上げます。

以上

## 行事レポート ◇ 会員研修会（平成6年12月3日）、後藤四郎氏の講演「へんこつ一代」の概要

是石 俊文（福岡・建設）

氏は明治40年生で満87歳。平成6年には1年間のゴルフ117ラウンドとのことに満席の会員からは大きな溜め息が……。

昭和4年陸軍士官学校を卒業（陸士第41期）し、小倉連隊で少尉に任官。革新派の青年将校として上司に睨まれ、昭和8年満州の独立守備隊に転任し（実は危険分子として内地追放）、討伐や治安工作に専念された。

昭和11年の2・26事件には何の関係もなかったが「関係ありと疑われるか如き言動ありたるにより」との理由で2期進級停止、重謹慎30日、内地に帰還を許さず等々の処罰を受けた。だが後藤隊長が行く先々の駐屯地では日本軍兵士と現地の住民との暖かい交流が交わされ、部落の若い細君や娘さんが守備隊の中の浴場に貰い風呂に来るといふ、信じられないほどの信頼感を持たれたという。

また東条関東軍憲兵司令官が差し向けたと思われる刺客を、後藤中尉の腹心の部下、

石田上等兵・山下上等兵が後藤中尉には知らさずに2度に亘って斬って捨てたという話には、一同息を呑んで聴き入った。

氏は「天は仁なり 仁は天なり 天の上の一は天、下の一は地。世の中は天と地、プラスとマイナス、陰と陽、春と秋、夏と冬があるか如く」天然自然の流れに副う生き方に徹して居られるという。

誠に有意義な講演であった。

— 以下編集部 —

・当日の会場は「博多パークホテル」。

・研修会出席者は56名で、その他

「近世アジアの日本と朝鮮半島」と題して、北九州大名誉教授、九州共立大教授、文学博士 三宅英利先生が、江戸時代の国際環境・朝鮮王朝・国交の再開・両国の平和交流等について、たいそう興味深い講演があった。

・研修会終了後、恒例の忘年パーティが、65の参加者により盛大に催された。 以上

## レポート ◇ 宗像終末処理場見学会報告

真鍋 和義（福岡・水道）

昨年11月29日(火)、第2部会と第4部会の合同による技術研修見学会が、宗像市の宗像終末処理場で13名の参加により行われました。

今回見学した施設は包括固定化窒素除去プロセス（ペガサス）による高度処理施設で、ペガサスの下水処理場への本格的な導入は全国でもここが初めてだそうです。

宗像市終末処理場では処理水が釣川に放流されていますが、その下流に宗像市と宗像地区水道企業団の上水の取水口があり、放流量が釣川水量の2割位になるので富栄養化の抑制のため窒素・リンの低減化が求められ高度処理を導入することになりました。この処理場では2系統の施設がありますが、20年前に処理を開始した第1系統を更新してペガサスを導入し、6年9月から運転開始したものです。なお第2系統は通常の循環変法で一部が完成し運転していますがまだ建設途中にあります。

さて、ペガサスとは日立プラント建設の開発によるもので硝化細菌を含む活性汚泥をポリエチレングリコールで3mm程度の立方体状のペレットとし、微生物を高濃度に保持し窒素を効率的に処理しようとするものです。なおリンの除去についてはポリ塩化アルミニウム（PAC）を注入する設計となっていますが、現在のところPACは注入せずとも窒素・リンの除去とも良好で目標品質を達成していました。嫌気・好気による脱リンの効果が現れているものと思われます。

以上のような説明を受けた後、現場を見学させて頂きました。生物反応槽は通常の曝気槽よりはやや複雑な構造となっており、槽中で浮遊するペレットを興味深く観察しました。

最後に、見学会の設定や当日の説明、案内の労をとられた方々に深く感謝してこの項を終わります。

以上





## 行事レポート ◇ 製造物責任(PL)法講習会実施報告

町田 貞徳 (研修委員長・福岡・電気電子)

平成7年2月4日、製造物責任(PL)法に関する講習会が福岡市において、技術士会主催・福岡商工会議所後援で行われた。

講師は、日本技術士会・製造物責任委員会の委員長である本田尚士氏と同委員の矢部五郎氏で、受講者は支部・センター会員の他、商工会議所会員等45名であった。

### 1. 講習概要

本年7月より製造物責任法が施行される。各企業においては、製品関連事故防止の為の厳重な品質管理とともに、取扱説明書・警告ラベルの見直し等を行わねばならない。その対策としての ①製造物責任法の目的と効果。②製造物責任法のポイント説明。③製造物責任と品質管理・品質保証との関係。④取扱説明書・表示及び警告の作成方法。⑤苦情処理紛争解決方法及び訴訟対策。⑥保険。等に熟知し対処せねばならない、旨の解説があった。

### 2. 日本技術士会としてのPL法への対応

日本技術士会はPL法に対する指導調整役を指向し、関係官庁と折衝を進めている。例えば、PL法の周知啓蒙・講習会・説明会等の講師受託、PL法実施後の紛争裁判等の証拠調べ・調停役の引き受け等である。

### 3. PL法業務従事希望技術士募集

そこで、上記業務希望の技術士は申し入れて欲しい旨の話があった。業務内容はPL法の周知啓蒙・講習会・説明会等の講師、PL法実施後の紛争裁判等の証拠調べ等で、特に以前経験を持っている方は歓迎するそうである。また、経験の無い方でも、現在発行されている3、4冊の本を勉強し、本田・矢部両講師と連絡し合ってもらえば十分に業務遂行が可能とのことである。PL法関係業務に関心のある技術士は、直接本田尚士氏又は矢部五郎氏に連絡され、今後の対処法等を相談されたい。 以上

## 行事レポート ◇ 第5部会 佐賀県農林業近代化施設見学会報告

岡部 九州生 (第5部会長・福岡・農業)

平成7年2月16日(木)ー参加者9名

### (1)九電 農業電化試験場本場視察

|           |                       |
|-----------|-----------------------|
| 敷地 面積     | 12,700 m <sup>2</sup> |
| ハウス (10棟) | 1,655 m <sup>2</sup>  |
| 野菜工場 (3棟) | 654 m <sup>2</sup>    |

イ. 野菜工場の実用化研究

ロ. 農産物長期貯蔵の研究

ハ. ヒートポンプ利用ー周年栽培の研究

ニ. 養液栽培研究

ホ. 減農薬、無農薬研究

### (2)佐賀木材(株)プレカット工場視察

- ・プレカットシステムで職人不足解消
- ・確かな技術で精度を高めたプレカット
- ・スピーディな対応が早期成約可能
- ・平面図から仕上がりイメージまで作成
- ・住宅用コンピュータで設計積算

### (3)株)バイオテック富士視察

21世紀をめざして近代化農業システムの生産基地としてプラグ苗の生産

- ① 労働力・生産コストの低減

### ② 均一で高品質の苗の生産

### ③ 圃場の高度利用

### ④ 安定供給による安定生産

宿泊 古湯温泉「鶴霊泉」 ～ 懇親会

平成7年2月17日(金)

### (4)九電 天山地下発電所(揚水式)見学

- ・発電能力 60万キロワット
- ・トンネルの延長 3,300 m
- ・発電々動機 2基 地下約 500 m
- ・佐賀支店 総合制御所より遠方制御

### (5)白石地区 広域農道見学

- ・所在地 杵島郡大町町、江北町、福富町、白石町、有明町
- ・総延長 17,100 m
- ・全幅員 8.5 m
- ・受益面積 8,027 ha
- ・有効幅員 7.0 m
- ・橋梁 3ヶ所

(新渡大橋、島田橋、竜王橋)

佐賀駅着 ～ 解散 (参加者9名)

## 行事レポート ◇ 会員実務研修会および合格祝賀会

小松 栄一（北九州・経営工学）

平成7年2月25日(土)、福岡市博多パークホテルにおいて、会員実務研修会(46名参加)および二次試験合格者研修会(40名参加)が実施され、そのあと合格者祝賀会(94名参加)が開催された。

☆会員実務研修会(13:30~17:00)

### (1) 海水淡水化装置

講師 水処理エース株式会社社長

珍坂 清人 先生

昨年の全国(静岡から鹿児島まで)的な大渇水で活躍した、海水淡水化装置について興味深いお話があった。その要点を記すと次のようである。

- ・浸透現象：純水と海水のように濃度の違う溶液を半透膜で仕切ると、純水は半透膜を通して海水側に透過する。
- ・逆浸透：逆に海水側に圧力をかけて海水中の純水だけを純水側に透過させること。
- ・海水淡水化の造水単価が高いと言われるがトン( $m^3$ )当り100円以下で、エネルギー回収タービンを使えば60円位になっている。
- ・濃度が低いときは20~25円にもなる。

・耐用年数は普通10~15年。

・従来は、膜の交換のためにランニングコストが高かった。現在は交換せず、酸洗浄で回復。

・RO膜(10 $\mu$ mストローム程度の多数の穴)通過後は完全な無菌。

### (2) 私の技術士ビジネスの展開

講師 (有)ミヤタハイメック代表取締役

宮田技術士事務所所長 宮田守次 先生

金属部門の技術士である先生は、企業内で10年、その後定年前に独立・開業され今日までの活動について、語って戴いた。「6まめ主義」など多くの示唆に富む貴重なお話で、特に今後独立開業を期しておられる方々にとっては誠に有益な講演であった。

☆合格者祝賀会(17:00~19:00)

研修会終了後、合格者祝賀会が盛大に開催され、恒例の合格者スピーチ(人数が多く時間短縮)は勿論、「技術士の歌？」などで盛り上がり、酒を飲み乍ら楽しい懇親のひとときを過ごし、技術士会九州支部万歳の後、名残を惜しみつつ閉会した。 以上

## 特別レポート 科学技術とは

その日は、朝六時半に目覚めたが、寒い時でもあり布団の中でモゾモゾしていた。

台所から妻が、「早く起きてテレビを見なさいよ、神戸で地震が起きたようですよ。妹さんが住んでいるのでしょう。」と声をかけてきた。あわててテレビの画面を見ると、次々と燃えている家々、つぶれた建物が目まぐるしく写され、実況中継が行われていた。空襲に似た様相を示していたが、午前六時前後であれば、寝ている所を地震の直撃を受け、閉じ込められた人々が生きたまま焼かれているのであろう。

昔の諺で「地震・雷・火事・親父」という恐いものの順序は、人間の力ではどうにもならない事から並べているという。

動物は五感を駆使して危険より逃げている。光とか音とか匂いを目・耳・鼻で感じとり、足や羽を使い危険な場所より遠ざかる。

角田 正治（北九州・機械）

・瞬時の地震は、第六感を持っているともいわれるある生物以外、予知は困難であろう。

三十年前より国家プロジェクトとして発足し、学者、技術者を集め、最新の科学技術を駆使しながら、一千億円以上の開発費を使って来た地震予知検討では、今回の予知は出来なかったという。

地震発生後二十日間を経た2月5日に、芦屋から東灘区迄を見て歩いた。撤去作業のほこりと、山のように出されたゴミの異臭の中を、倒壊した建物や焼けた商店街を見て回るのは、不快感と被災者への気の毒な気持ちが入り混じった。その日下車した大阪駅の雑踏の、しゃれた衣服であれこれと話をしながら歩く人々と、黙って急ぎ足で通り過ぎるジャンパー姿にリュックを背負った人々が、あまりに対称的に感じた。＜次ページに続く＞

列車で1時間弱の距離の所だけに、繁栄の国日本と、天災に打ちひしがれた同じ日本の落差を感じると共に、こうやって見舞いを装いつとカメラを向ける自分に腹立たしくなつた。

ガレキの山と焼けたたれた跡を見て、人類は科学技術を駆使して現在の生活を築いて来たが、天災を受ければ、今までの快適な生活空間は瞬時にして廃墟と化してしまう。五千名以上の人が、建物の下敷きとなったり、火災で焼かれてしまったのは、あまりに今の文明生活に甘んじ、スイッチをひねれば電灯がついたり、温かい湯の出てくる世界での人類、日本人への神の警鐘かも知れないと思った。

家がつぶれ、電気・水道・ガスが来なくなり、電話・交通網が寸断されれば、便りになるのは己の体だけである。人類以外の生物群は、己の体だけを頼りにして、厳しい自然の中での生存競争を戦い抜いている。

我々は地球に住む一握りの生物群であるという事を改めて問い直し、科学技術文明とはを考える時ではないかと感じた。

／ 道具や科学技術は、使う人により、武器になったり、己達の進歩を止める物となりうるのである。

大げさかも知れないが、人類とは・地球とは・他の生物群とはを科学技術を中心にして見直す良い時ではないか。

阪神地区の亡くなった多くの人々が犬死とまらない為にも、これ以上日本にガレキの山を築かないよう、必要最小限以上、数少ない地球の資源を使わないように。

阪神大震災で被災死した方々のご冥福を祈りながら、人類にとり、科学技術とは何かを改めてこの際問い直す事を提案させて戴きたい。

今まで我々は、人間という生物群にたまたま与えられた科学技術という、とてつもない便利な道具で、己達の利益になる面ばかり注視してきたような気がする。きれいな家に住み、交通網を発達させ、各種の情報伝達手段を作り上げて来た。今この阪神地区では、それはガレキの山と化している。 以上  
(写真はJ R芦屋～神戸間の高架破損部)







## 英国 (U. K) 紀行 - 地方の結婚式に参列して -

田中 正人 (センター監事・福岡・機械)

会社に勤務していた頃は、業務上で海外へ数ヶ月滞在してその土地の人達の生活を実際に見て、慣習とか生活様式が日本人との差異を特に興味をもって見たこともありましたが、一般に海外出張は多忙な日々の連続で、業務に集中している余りその国の習俗なるものを観察する暇もなく、バタバタと帰国したことが多かったと思います。現在では海外でホームステイで生活している学生や家族共々海外に赴任している方々も多くなり、真にその国の文化なるものを肌で感じる機会が多くなりました。平成3年11月、娘の結婚式のために、妻と共にU. Kに出かけるようになってから、夫の英国人とその両親とも交際が始まって、ここ2~3年我が家も急に国際化するものを感じております。そこで中部ENGLND (NORTH YORKSHIRE 州のDANBY の町) の田舎の教会での結婚式の模様を、私事ながら始めての経験としてご披露いたします。

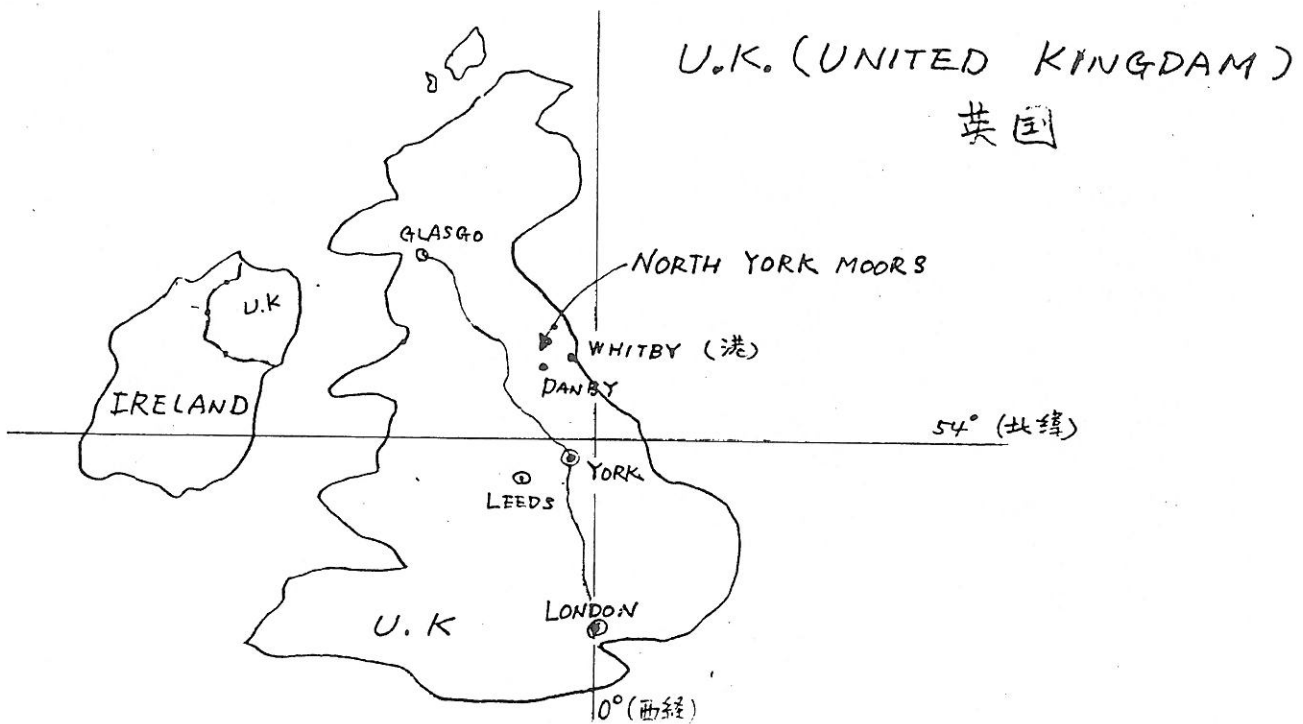
### (1) 式の準備と服装

結婚式に出席するのに驚いたことは、花嫁 (BRIDE) の父もモーニングコートを

着るとのことです。結婚式には花婿 (GROOM) と花婿付添人 (BEST MAN) と3人がモーニングコートの礼服を着用するだけで、勿論花嫁はドレスを着用しますが、参列者は普通のスーツで礼服の着用は必要ないのです。花嫁の父は式の重要な主役の一人であることは次の教会参列時にお判りになると思います。

### (2) 教会と参列者

式の前日に家族は教会の椅子の両側に簡単に生花の飾りつけをするために、教会へ出かけます。参列者はお祝いしてくれる方であればどなたでも参加できるとのことです。そして式が始まる前に、参加の人達は殆ど教会の席に着いています。ここで花嫁と花嫁の父が腕を組んで教会の入口に並び、花嫁の付添いの若い娘 (BRIDES MAID) 2人がドレスの裾をもって、牧師さんの案内にて結婚行進曲の流れる中を入口の扉から正面の花婿の所まで進みます。……2~3百年前に石造で建築された古い伝統ある教会の中は、その重厚さと厳粛さを感じました。



### (3)お祝いの贈物と披露パーティ

次に教会より車で30分のパーティ会場(場所はWHITBYの町のホテル)にて披露宴が開かれました。この町は港町で、あの偉大な探検家で航海者でもあったキャプテン・ジェームス・クックが1746年移住し、処女航海の帆船がこの町の造船所で建造されたそうです。ところでパーティに出席した方々は、それぞれ心を入めた簡単に自分で包装した贈物とお祝いのメッセージを持参してまいります。パーティの始まる前の30分ぐらいがその時間で挨拶を交わす訳です。日本のようにお祝いとして祝儀を包むようなことはありません。パーティの控えの間で積まれたお祝いの贈物はあとで新婚夫婦の部屋に運ばれ、パーティ後ゆっくり二人でお祝いのメッセージと共に楽しみに開くとのことでした。

先ずパーティ会場では拍手の中で、自分等が造った手製のウェルディングケーキの入刀が行われ、会場にはバイキング式で馳走が準備されていて、花婿花嫁の順序に自らバイキングを行い、サッサと食事に入ります。ボーイの運ぶ飲物を戴きながら、ガヤガヤと

おしゃべりしながら食事が終わるまで何の挨拶もありません。デザートを充分にとって皆様が満腹感を味わった頃、突然に花婿がコップでテーブルを強く叩きます。皆一斉に花婿の方を向き3分程度の花婿のスピーチに耳を傾けます。花婿より紹介された花婿付添人(BESTMAN、主として花婿の最も親しい友人)が登場し司会を始めます。この披露パーティの主役がまさにベストマンなんです。ベストマンより花嫁の父の紹介があり、短ければ短いほどすぐれた挨拶と言われるので2分間日本語(英訳)で簡単に挨拶し、花婿の父のお礼の挨拶の後はベストマンのユーモアたっぷりに花婿、花嫁の紹介、二人の結ばれた縁、出会い等々、さすが親友だけあって常に笑いとジョークに会場は最高の賑やかさになりました。来客者は一人として挨拶も歌も唱う必要はなく、ゆったりとした気持ちでパーティの和やかさを味わうことができたようにみえました。私は日本の結婚式も披露宴も日本独特の良さもありますが、形式的な商業的な色彩が最近が多いように思えます。

以上

## 随想 ◇ 文章が苦手の我流テクニック ~ 私の文章作法 ~

前田 秀人(佐賀・建設)

現在は、技術論文、事業報告、提言などの文章を書く機会が多くなり、いつも「文章をスラスラ書けたらいいな」と思います。しかし、いざ書くととなるとなかなかうまく行かず、頭を悩ませます。そこで、私の場合は、次の手順で行うことにしています。

- ①テーマを決める。 ②章立てて、目次を決める。 ③好きなところから書く
- ④全体調整。流れと文体の統一を図る。
- ⑤タイトルを決める

以上が、文章を書くときの私なりの手順ですが、文章力をつけるために、私が日常心がけていることは、

- ①メモ魔になる。 ②毎日、5行論文を書く。 ③200文字に要約する癖をつける。
- ④ワープロで文章を書く。何回も修正、編集できる。 ⑤投稿を義務づける。

などですが、実際にはうまく行かないのが現実です。

また、文章力が向上すると、考える力、つまり分析力、創造力、企画力が同時に向上するといわれています。チャンスをつかんで文章を書く。その繰り返しで文章力を向上させると信じて、これからも頑張っていこうと思っています。

以上



## 会員ニュース



☆九州地方技術士センター入会

—以下敬称略、受付順—

(地区)(区分)(氏名)(技術部門)(連絡先・勤務先—下段)  
北九州 政領 代本<sup>グレイ</sup>丈春 電気・電子 〒811-32 福岡県宗像郡福間町1365-238 ☎(0940)43-8659  
勤務先 (株)日鉄エレクトックス ☎(093)884-1533 FAX(093)884-0985



☆九州地方技術士センター入会（つづき）

| (地区) | (区) | (氏 名) | (技術部門)                 | (連絡先・勤務先-下段)                             |
|------|-----|-------|------------------------|------------------------------------------|
| 大分   | 諒   | 村山 邦夫 | 農業                     | 〒870-11 大分市大字横瀬富士が丘5-97 ☎(0975)41-0161   |
| 北九州  | 〃   | 垣迫 裕俊 | 建設                     | 〒803 北九州市小倉南区志徳2-4-21-104 ☎(093)962 ↓    |
| 北九州  | 〃   | 西井 康浩 | 〃                      | 〒750 下関市宮田町1-3-16 ☎(0832)22-5010 -8342   |
|      |     |       | 勤務先 (株)三洋コンサルタント九州支店   | ☎(093)511-0241 FAX(093)522-6040          |
| 福岡   | 〃   | 境 睦人  | 〃                      | 〒815 福岡市南区南大橋1-8-31                      |
| 〃    | 〃   | 光岡 毅  | 〃                      | 〒816 福岡県春日市紅葉ヶ丘東8-1                      |
| 鹿児島  | 〃   | 藤本 滋生 | 農業                     | 〒891 鹿児島市西伊敷5-22-5 ☎(0992)20-8763        |
|      |     |       | 勤務先 (協)鹿児島アクティブル食品研究所  | ☎(0992)58-2340 FAX(0992)20-8763          |
| 福岡   | 〃   | 古賀 照久 | 環境                     | 〒816 福岡市博多区三筑2-2-37 南福岡渡辺ビル 203          |
|      |     |       | 勤務先 (財)九州環境管理協会        | ☎(092)662-0410 FAX(092)662-0990          |
| 〃    | 〃   | 吉竹 正致 | 建設                     | 〒813 福岡市東区香椎浜1-9-2-304 ☎(092)672-1766    |
|      |     |       | 勤務先 西鉄シー・イー・コンサルタント(株) | ☎(092)511-2441                           |
| 北九州  | 〃   | 松下幸之助 | 機械                     | 〒802 北九州市小倉北区下富野5-1-30 ☎(093)551 ↓       |
|      |     |       | 勤務先 東陶機器(株)バイオ研究所      | ☎(093)952-3109 -2950                     |
| 福岡   | 〃   | 松浦 茂雄 | 環境                     | 〒816 福岡県春日市若葉台東3-69 ☎(092)573-3865       |
|      |     |       | 勤務先 (財)九州産業技術センター      | ☎(0942)83-2405 FAX(0942)85-3854          |
| 熊本   | 〃   | 高井 一也 | 化学                     | 〒861-11 熊本県菊池郡西合志町須屋262-29 ☎(096) ↓      |
|      |     |       | 勤務先 井筒屋化学産業(株)         | ☎(096)352-8121 FAX(096)353-5083 338-9091 |
| 北九州  | 〃   | 安西 敏雄 | 金属                     | 〒806 北九州市八幡西区岸の浦2-4-40-207 ☎(093) ↓      |
|      |     |       | 勤務先 (株)高田工業所技術本部       | ☎(093)632-2545 FAX(093)632-2660 642-7698 |
| 福岡   | 〃   | 石井 栄造 | 建設                     | 〒814-01 福岡市城南區友丘6-20-26 ☎(092)865-3620   |
|      |     |       | 勤務先 (株)建設技術研究所         | ☎(092)714-2211 FAX(092)715-4352          |
| 〃    | 〃   | 大城 政人 | 〃                      | 〒900 沖縄県那覇市壺川266                         |
|      |     |       | 勤務先 (株)大東エンジニアリング      | ☎(098)878-1381 FAX(098)876-0793          |
| 長崎   | 〃   | 松尾 稔  | 電気・電子                  | 〒852 長崎市大手1-21-13 ☎(0958)44-2219         |
|      |     |       | 勤務先 エムアンドビーエンジニアリング(株) | ☎(03)3293-2671 FAX(03)876-0793           |
| 〃    | 〃   | 永田 至孝 | 〃                      | 〒852 長崎市三川町800-8 ☎(0958)45-5004          |
|      |     |       | 勤務先 長菱制御システム(株)        | ☎(0958)62-0623                           |
| 福岡   | 〃   | 福永 圭悟 | 機械                     | 〒838-01 福岡県小郡市三国ヶ丘6-114 ☎(0942)75-6429   |
|      |     |       | 勤務先 三菱電機(株)福岡製作所       | ☎(092)805-3631 FAX(092)805-3763          |
| 北九州  | 〃   | 三方 信行 | 衛生工学                   | 〒808-01 北九州市若松区青葉台南3-12-9 ☎(093)742 ↓    |
|      |     |       | 勤務先 新日鐵(株)機械プラント事業部    | ☎(093)872-7020 FAX(093)872-7087 -3977    |
| 〃    | 〃   | 岸田 生坦 | 〃                      | 〒809 福岡県中間市太賀3-9-1 ☎(093)244-7963        |
|      |     |       | 勤務先 新日鐵(株)機械プラント事業部    | ☎(093)872-6843 FAX(093)872-7087          |
| 〃    | 〃   | 上野山 清 | 〃                      | 〒808-01 北九州市若松区青葉台西4-10-11 ☎(093)742 ↓   |
|      |     |       | 勤務先 新日鐵(株)機械プラント事業部    | ☎(093)872-6332 FAX(093)872-6431 -4340    |
| 大分   | 〃   | 諫本 信義 | 林業                     | 〒877-12 大分県日田市小河内町2958 ☎(0973)24-9547    |
|      |     |       | 勤務先 大分県林業試験場           | ☎(0973)23-2146 FAX(0973)23-6769          |
| 福岡   | 〃   | 小柳 賢祐 | 建設                     | 〒819-11 福岡県前原市潤155-5 ☎(092)324-6012      |
|      |     |       | 勤務先 パシフィックコンサルタンツ(株)   | ☎(092)885-5011 FAX(092)885-5003          |
| 〃    | 〃   | 碓 俊明  | 電気・電子                  | 〒811-02 福岡市東区高美台1-24-7 ☎(092)606-6727    |
|      |     |       | 勤務先 (株)正興電機製作所         | ☎(092)943-7181 FAX(092)941-1181          |
| 〃    | 〃   | 吉本 豊彦 | 建設                     | 〒818 福岡県筑紫野市美しが丘6-4-63 ☎(092)926 ↓       |
|      |     |       | 勤務先 (株)熊谷組九州支店         | ☎(092)521-1401 FAX(092)526-7150 -6559    |
| 長崎   | 〃   | 森 勝義  | 〃                      | 〒841-02 佐賀県三養基郡基山町埴宮浦543-2 ☎(0942) ↓     |
|      |     |       | 勤務先 建設省長崎工事事務所         | ☎(0958)39-9211 FAX(0958)39-9211 92-6072  |



☆九州地方技術士センター入会（つづき）

| (地区) (区分) | (氏 名)       | (技術部門)  | (連絡先・勤務先-下段)                                                                                  |
|-----------|-------------|---------|-----------------------------------------------------------------------------------------------|
| 大分 諄      | 岸和田 侑 環 境   | 〒8870   | 大分市新町19-4 ハイライ大分407 ☎(0975)37 ↓<br>勤務先 (株)住化分析センター大分事業所 ☎(0975)23-1181 FAX(0975)23-1185 -5425 |
| 福 岡       | 宮本 憲 建 設    | 〒272    | 千葉県市川市高谷2-7-7-107<br>勤務先 (株)熊谷組九州支店 ☎(092)521-1401 FAX(092)526-7150                           |
| 大 分       | 黒枝 秀吉       | 〒870    | 大分市寒田田園町29 ☎(0975)68-2903<br>勤務先 九州建設コンサルタント(株) ☎(0975)57-6211 FAX(0975)56-3607               |
| 福 岡       | 前田 義隆       | 〒814    | 福岡市早良区西新2-24-1 ☎(092)843-1225<br>勤務先 九州電技開発(株) ☎(092)281-5805 FAX(092)281-6811                |
| 北九州       | 安田 久 金 属    | 〒804    | 北九州市戸畑区天神1-5-24 ☎(093)881-5431<br>勤務先 日立金属(株)九州工場 ☎(093)436-2709 FAX(093)434-6528             |
| 熊 本       | 岩田 博文 建 設   | 〒861-52 | 熊本市小島下町4218 ☎(096)392-2672<br>勤務先 (株)日本水工コンサルタント 西部事務所 ☎(096)389-0261 FAX(096)389-0262        |
| "         | 中熊 秀光 環 境   | 〒861-41 | 熊本市内田町2618-6 ☎(096)223-1470<br>勤務先 熊本市保健衛生研究所 ☎(096)329-2511 FAX(096)379-7783                 |
| 福 岡       | 野添 秀昭 建 設   | 〒900    | 沖縄県那覇市泊3-18-2 仲本マンションB201 ☎(098) ↓<br>勤務先 清水建設(株) ☎(098)944-1425 FAX(098)944-1427 867-4578    |
| "         | 篠宮 正修       | 〒813    | 福岡市東区香住ヶ丘3-29-15 ☎(092)673-1487<br>勤務先 日本舗道(株)九州支店 ☎(092)771-0266 FAX(092)741-5364            |
| 大 分       | 小川 敏幸       | 〒870-01 | 大分市大字猪野957-45<br>勤務先 佐藤組 ☎(0975)34-8161                                                       |
| 佐 賀       | 宮本 晴邦       | 〒849    | 佐賀市若宮2-12-11 ☎(0952)33-1005<br>勤務先 建設省長崎工事事務所 ☎(0958)39-9211                                  |
| 長 崎       | 松本 直弥 応用理学  | 〒858    | 長崎県佐世保市星和町24-18 ☎(0956)28-4384<br>勤務先 西海地研(株) ☎(0956)22-2128 FAX(0956)22-2129                 |
| 福 岡       | 毛利 勝則 電気・電子 | 〒819    | 福岡市西区野方2-53-4 ☎(092)811-3086<br>勤務先 福岡市交通局 ☎(092)891-5255 FAX(092)891-5234                    |
| "         | 山口 啓志 機 械   | 〒814-01 | 福岡市城南区南片江1-25-7 ☎(092)865-2688<br>勤務先 福岡市交通局 ☎(092)881-3370 FAX(092)881-4119                  |
| "         | 柿山 眞 建 設    | 〒818    | 福岡県筑紫野市原田5-2-3 ☎(092)926-4597<br>勤務先 新構造技術(株)九州支店 ☎(092)451-4281 FAX(092)414-8458             |
| 北九州       | 大久保裕文       | 〒803    | 北九州市小倉北区下町津3-14-7 ☎(093)582 ↓<br>勤務先 (有)大久保計画アトリエ ☎(093)582-6714 FAX(093)582-6726 -6714       |
| 福 岡       | 野田 健二       | 〒811-02 | 福岡市東区奈多団地6-402 ☎(092)606-7796<br>勤務先 エイコー・コンサルタンツ(株) ☎(092)522-1814 FAX(092)522-1067          |
| "         | 上村 洋司       | 〒830    | 久留米市国分町1438-2-303 ☎(0942)22-5724<br>勤務先 水資源開発公団小石原ダム調査所 ☎(0946)22-7000 FAX(0946)22-7055       |
| 熊 本       | 山口 裕三       | 〒860    | 熊本市島崎1-2-30第7梅香園301 ☎(096)351 ↓<br>勤務先 日本電信電話(株)九州土木センター ☎(096)321-2432 FAX(096)325-8513 9610 |
| 大 分       | 山本 浩 水 産    | 〒879-15 | 大分県速見郡日出町川崎5287-3 ☎(0977)73 ↓<br>勤務先 ヤンマーディーゼル(株) ☎(09786)8-0766 -1036                        |

☆会員勤務先（住所）および連絡先変更

1. 藤井 利治（水 道）  
連絡先 〒819 福岡市西区小戸4-16-3  
TEL(092)881-3196
2. 江崎 親教（金 属）  
連絡先 〒811-31福岡県粕屋郡古賀町天神  
3-4-18 TEL(092)942-3570

3. 牟田 基久 (建設)  
勤務先 〒815 福岡市南区大橋1-4-29  
センター K.Kランドスケープ・コア  
TEL(092)541-8845 FAX(092)541-8885

4. 角田 正治 (機械)  
勤務先 〒807-11 北九州市八幡西区  
茶屋の原3-13-17 角田技術士事務所  
TEL(093)617-2376 FAX(093)617-2376

5. 中尾 鎮彦 (水道)  
連絡先 〒849-01 佐賀県三養基郡北茂安町  
大字白壁3953-133 TEL(0942)89-1446

6. 安部 治良 (建設)  
連絡先 〒274 船橋市前原西1-29-3-204  
TEL(0474)93-0771  
勤務先 〒100 東京都千代田区丸の内1-6-5  
日本国有鉄道精算事業団用地企画部  
TEL(03)3215-9633

7. 辻 和毅 (応用理学)  
連絡先 〒815 福岡市南区野間2-10-31  
TEL(092)541-4192

8. 黒木 正勝 (衛生工学)  
勤務先 〒812 福岡市博多区祇園町8-13  
エフ・ジェイ都市開発㈱

9. 池前 善道 (電気・電子)  
連絡先 〒874 大分県別府市馬場6-1

10. 光江 静江 (林業)  
勤務先 〒862 熊本市健軍町2606  
㈱水野建設コンサルタント  
TEL(096)365-6565 FAX(096)367-6290

11. 松岡 信明 (応用理学・環境)  
連絡先 〒811-02 福岡市東区三苫1-6-8

12. 黒江 浩 (機械)  
連絡先 〒819 福岡市西区福重4-24-35  
TEL(092)881-7124 FAX(092)885-5704

—受付順、敬称略—<会員ニュースおわり>

## ◇ 会誌”技術士”最近号の主要目次

### ☆ 1月号

- ・私の技術士業務  
派遣専門家から今、コンサルタント会社  
勤務になって / 北村 純一
- ・研修のページ  
ブレイクスルー思考による新製品開発  
/ 桜井 敬三

### ☆ 2月号

- ・巻頭言  
技術の国際貢献について / 河野 清
- ・私の技術士業務  
私の建設マネジメント / 松原 宏一
- ・研修のページ  
小水力発電の現状と問題点  
/ 原田 和彦
- ・平成6年度技術士第一次試験合格者発表

### ☆ 3月号

- ・巻頭言  
地質調査業の概況と技術士考  
/ 瀬古 隆三
- ・提言  
環境監査規則を統一的に早期に設置  
すべきことの提言 / 池田 豊
- ・私の技術士業務  
実年開業8年 / 栗林 益美
- ・平成6年度技術士第二次試験合格者発表

## ★ 投稿を募る ★

技術研究論文・技術士の主張・賛助会員会社の紹介など、技術的なことは勿論  
会員の受賞などのニュースもお願いします。  
積極的な皆さんの投稿をお待ちしております。  
(200字詰め原稿用紙2〜3枚程度を目安に、支部事務局宛にご送付下さい。)



## 編集後記



・忘れた頃にと…阪神大震災。自然の猛威  
になすすべ無し。危機管理、予兆あり、警告  
していた、等々後のまつり。ただご冥福と復  
興の1日も早からんを祈るのみ。  
・情報は早い程よいのは当然、本誌も思い切  
って増ページ。内容もよくしたいもの、皆さ  
んの提案と、多くの投稿を切に乞う。(小)

発行：(株)日本技術士会・九州支部  
九州地方技術士センター  
〒810 福岡市中央区大名1丁目  
12-61 新天ビル402  
☎ (092) 771-9534  
FAX (092) 731-8274  
編集：九州支部・総務委員会